

ノンアルコール新たなステージに

新商品は、より飲みごたえを追求

国産ビールメーカー大手

焦点となっている。

4 社が販売するノンアルコールビールの勢いが鈍化している。8 月の販売は前年同月比 90% と大きく減少、年初累計も 99・4% とマイナスに転じた。そうした中で注目されているのがサントリーと麒麟ビールの新商品を交えた販売戦だ。また、これまでの多くの商品が発酵を要しない調合タイプという現状下で、好調に売れ行きを伸ばす「アサヒゼロ」に始まった脱アルコール製法が、より飲みごたえを訴えた 2 大潮流の形成に一役買うのかも

本紙が推定した 1～8 月のビール大手 4 社ノンアルコールビール販売数量は、前年同期比 99・4% の約 1508 万箱（ビール大びん換算）と、8 月の 2 ケタ減（前年同月比 89・9%）が響き、7 月累計の 101・4% から 2 ポイント悪化し、マイナスに転じた。夏場（6～8 月）としては 96・1% とマイナス幅が広がっている。コロナ禍の 19 年、20 年も 1～2% 台の成長を続け、21 年には 111% と大きく伸長。22、23 年はマイナスだったものの、24 年には 111% と再び急伸していたが、今 4 月の値上げ前にした 3 月に、仮需で 5 割を超す伸びをみせた後は、7 月を除きマイナスが続いている。

こうした流れの中、9 月 24 日にサントリーから「ザ・ベゼルス」が、同 30 日には麒麟ビールから「ラガーゼロ」が、それぞれ新発売され、注目を浴びている。

1～8 月の「オールフリー」ブランド計の販売数量が約 505 万箱（本紙推定）と、トップ 2 の地位にあるサントリーが発売した「ザ・ベゼルス」は、「ノンアルコール飲料はアルコール 0・00% のお酒」との考えをベースに、ノンアルコール飲料市場のさらなる活性化を目論んで発売された、「総合酒類メーカーの技術と知見で実現した、ビールで感じられるような飲みごたえ」が特長。ビールの貯酒工程から着想を得た熟成で旨みを引き出し、同社ならではの「スピリッツエキス」を配合した新しいアプローチで完成した。



一方、世界初のアルコール 0・00% ビールテイスト飲料「キリンフリー」を発売し、現在のノンアルコールビール市場の創造と拡大に貢献した麒麟ビールから発売された「ラガーゼロ」の第一の特長は、醸造したビールから独自の製法でアルコールを 0・00% にする脱アルコール製法。同社のノンアルコール史上で最大の設備投資額と 4 年の歳月をかけて「本格的なビールのような味わい」を実現したという。

脱アルコール製法によるアルコール分 0・00% ノンアルコールビールは、アサヒビールの主力ビールと比較して約 2 倍濃厚なビールから、2 回の脱アルコール工程でアルコール分を完全に除去し、ブリーユーゼロ製法を採用し、昨年 4 月に発売された「アサヒゼロ」に次ぐものだ。「アサヒゼロ」は、「ドライゼロ」を中心とする 1～8 月の同社ノンアルコールビール総販売数量が市場トップの約 790 万箱（本紙推定）となる中で、前年同期比 18



菊正宗、白鶴が万博ORAパビリオンに出店

【大阪】菊正宗酒造は 9 月 13～27 日、大阪・関西万博 ORA 外食パビリオン「宴 UTAGE」に出店した。

米大吟醸 180ml びん（同 1000 円）、「あま酒」500ml PET（同 900 円）、「キクマサギン生酒缶」180ml 缶（同 300 円）を揃えた。残暑が厳しいなか、冷蔵販売される日本酒が好評。初日から 3 連休を迎え、予定を上回る販売となった。「多くの来場者に来ていただいている。手軽で持ち運びにも便利な生酒缶の引き合いが高い」（同社）。



白鶴酒造は同 28 日～10 月 13 日の開幕まで、「HAKUTSURUSAKE」を発売。場拡大継続の焦点となっている。見方を変えれば、年間規模で 2350 万箱強、ビール類販売の 7% 強に成長した（ともに 24 年本紙推定値）ノンアルコール市場は、いろいろなシーンで楽しめる爽快系と、よりビールに近い味わいの飲みごたえ系の 2 大潮流による成長を目指す新ステージに入ったといえよう。

（石母田健）

楽しめるよう、フロアズンや酒ハイを揃えた。年々暑くなる夏にも飲んでもらえるような飲み方を提案していきたい」（同社）。

「Hakutsuru Blanc」白鶴大吟醸「梅酒原酒」の 3 種が楽しめる「日本酒・和リキユール飲み比べセット」（税込 1000 円）、「超特撰白鶴天空中取り純米大吟醸」（白鶴錦／山田錦、各同 1500 円）、「Hakutsuru Blanc」の日本酒フロアズン（同 500 円）、「白鶴大吟醸」を炭酸で割った「酒ハイ（日本酒ハイボール）」（同）を販売。